

携帯電話（ケータイ）・スマートフォン、SNSの安全利用についての協力依頼について

日頃より本校教育活動へのご理解とご支援を下さり感謝申し上げます。

昨今、携帯電話を子どもたちに持たせるご家庭が増えるところですが、本校では「学習用具以外の持ち物は学校へは持ってこない」という決まりもあり、(個々の家庭状況やニーズを踏まえるとその対応・判断が極めて厳しい現状もありますが・・・) 児童の携帯電話等の所持は、原則禁止しているところです。

情報教育のマナー・ルールについて、学校でも指導するところですが、今一度、各ご家庭での「携帯電話等の安全利用に関する」ルール等の指導・徹底についてご協力をお願いします。

携帯電話等を所持させることで、児童の安心安全を守る・保護者との連絡ツールとして極めて便利な道具である一方で、携帯電話等を利用する中で、不当請求や迷惑メールで悩む子どもたちが増えているだけでなく、携帯電話・スマホ等で利用する SNS やゲームサイトで犯罪に巻き込まれることも少ないということです。

子どもたちがルール、マナー、そしてセキュリティを知らずに携帯電話等を利用することにより、トラブルや問題を引き起こしてしまうこともあります。実際に、著作権の侵害、多額な利用料金の請求、ケータイ依存症など、子どもを取り巻く環境の中では多くの問題が発生しているという事例もニュース等で耳にするところです。

このような背景の中、子どもたちに携帯電話等を持たせる際には、その危険性、ルール、マナー、そしてセキュリティといったことをしっかりと理解させ、正しく利用させることが重要です。

「もしかしたら？」という視点で確認しましょう。

携帯電話やスマートフォン等、適切な扱い方として難しいことは、子どもが携帯電話やスマートフォンをどう扱っているか保護者に見えにくいことです。子どもを信用することはもちろん大切ですが、「もしかしたら？」という視点で「常に危機感をもって」子どもの携帯電話やスマートフォン等の使い方を確認することも、子どもの安全を守るために必要なことです。

「もしかしたら、我が子が・・・」

- 有害サイト、不適切情報にアクセスしているかも？
- インターネット上に、自分や友達の個人情報を書き込んでいるかも？
- インターネット上で、悪口や人権に関わる誹謗中傷を書き込んでいるかも？
- インターネット上で、知らない人と連絡を取り合っているかも？
- 保護者の知らないところで、ネットショッピングしているかも？
- 「LINE」の利用で多くの友人や見知らぬ人とのつながりが増えていませんか？



その、利用・コミュニケーションが夜中まで、続いていませんか？

また、親しくなると互いの顔写真(画像)を送り合うということも簡単にしてしまうこともあります。

もしその画像を誰かが故意で、悪用してしまい、ネット上にアップされてからでは、手遅れになりかねません！

○便利な道具でも、使い方やルールを間違えると大変な危険に巻き込まれます。ご家庭でも是非、お子さんとの「使用におけるルール」をつくり、徹底していけるよう、お子さんの安全を守ることに協力方よろしくお願い致します。

安全なインターネットの使い方

「有害情報をシャットアウト！自分を守る第1歩！！」

あ・・・あわない！ネットで知り合った人とは会わない。(各種犯罪防止)

か・・・かかない！個人情報を書き込まない。

一度出た情報は、二度と消せない。

い・・・いはん(違反)しない

法律違反、マナー違反

ネットいじめ、チェーンメール等

リング・・・フィルタリング



*那覇警察署の少年課資料より